



未来を創る

学校教育目標

児童の実態

- ・明るく素直。
- ・異学年集団も仲よし。
- ・学習理解・生活習慣の二極化。

地域の実態

- ・恵まれた自然環境。
- ・保護者同士が親密。
- ・教育活動に協力的。
- ・地域に豊かな人材。

関係法

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
その他の
諸法規

中学校区で育成すべき資質・能力及び特別活動の目標
 <資質・能力>①知識・技能②情報収集・判断③思考・表現
 ④挑戦・探究⑤責任・使命⑥協力・協働⑦感謝・貢献
 <特別活動>
 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な
 集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を
 発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、
 次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や行動を行う
 上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるよ
 うにする。
 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するた
 めに話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることが
 できるようにする。
 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生か
 して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成す
 るとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を
 図ろうとする態度を養う。

道徳科

日常生活における道徳的な実践の指導を行う重要な機会と場である集団活動や体験的な活動を通して、多様な他者との協働、人間関係、自己の生き方、自己実現など、児童の道徳性を育成する。

外国語・外国語活動

外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
日本人としての自覚を持ち、世界の人と積極的に関わっていこうとする態度を育てる。

総合的な学習の時間

様々な体験を通して、自分自身を見つめるとともに、互いに認め合い高め合うことの意義に気づき、自分なりの価値観を育てていく。
地域の自然、文化を通して郷土愛を育み、道徳的実践力を育てていく。

各教科

各教科の目標達成の中で、課題をやりぬく態度、みんなとともに高め合う態度を育てる。
○学習過程の工夫と改善
○徹底した繰り返し指導
○体験や活動を通して、物事の事実に触れさせ、考える力を育成する。

生徒指導

豊かな心を育てるために家庭や地域と連携した取組を推進する。
やさしく、規範意識のある雰囲気をつくり、学級集団、学校集団を高める。
健康で安全な環境を守り高める。

評価の観点

- 集団活動や生活への関心・意欲・態度
- 集団の一員としての思考・判断・実践
- 集団活動や生活についての知識・理解

特別活動の指導の重点

児童のよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な活動を充実し、楽しい学校生活を創造する。

付けたい力

- 集団の一員としての自覚
- 自主的実践的な態度の育成
- 協力してよりよい生活を築く力

学級活動

(目標)
学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
(内容)
[第1学年及び第2学年]
話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解すること。基本的な生活習慣や、約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、生活をよくするための目標を決めて実行すること。
[第3学年及び第4学年]
理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見も受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。自分のよさや役割を自覚し、よく考えて行動するなど節度ある生活を送ること。
[第5学年及び第6学年]
相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、多様な意見のよさを積極的に生かして合意形成を図り、実践すること。高い目標をもって粘り強く努力し、自他のよさを伸ばし合うようにすること。

児童会活動

(目標)
異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
(内容)
① 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営
② 異年齢集団による交流
③ 学校行事への協力
1年：5時間 2年：5時間
3年：5時間 4年：5時間
5年：16時間 6年：16時間

クラブ活動

(目標)
異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
(内容)
① クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営
② クラブを楽しむ活動
③ クラブの成果の発表
4・5・6年
11時間
原則月曜日7校時(月1回)
クラブ発表 1月
クラブ見学 2月

学校行事

(目標)
全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
(内容)
① 儀式的行事
学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。
入学式・始業式・終業式・修了式・卒業証書授与式
② 文化的行事
平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。
芸術鑑賞会・学習発表会・作品展など
③ 健康安全・体育的行事
心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。
交通安全教室・防犯教室・運動会・避難訓練など
④ 遠足・集団宿泊的行事
自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。
遠足・修学旅行・野外活動・校外学習
⑤ 勤労生産・奉仕的行事
勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。
広地区クリーン活動・大掃除

代表委員会活動

3～6年の代表と委員会の代表

委員会活動

5・6年児童(原則月曜日7校時(月1回))
・児童・体育
・栽培・放送
・保健美化・図書
委員会発表 2月

児童集会活動

・1年生をむかえる会(2)
・6年生ありがとう集会(2)
縦割り班活動
児童朝会
(火曜日(隔月1回))

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画
ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
ウ 学校における多様な集団の生活の向上
(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ア 基本的な生活習慣の形成
イ よりよい人間関係の形成
ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
ア 現在や将来に希望や目標を持って生きる意欲や態度の形成
イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解
ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の利用

	(1)	(2)	(3)
1年	12	14	8
2年	15	14	6
3年	18	11	6
4年	18	11	6
5年	20	9	6
6年	23	7	5

縦割り班活動

異年齢集団でのよりよい人間関係や連帯感をはぐくむために、児童会活動や学校行事その他必要な時に学級母体を離れ、1年生から6年生までを1グループに編成した縦割りグループを活用する。
○縦割り班あいさつ運動(年に1回) ○縦割り班集会・遊び
○縦割り班掃除